

## 学校経営の方針<概略>

東久留米市立本村小学校  
校長 岩清水 克美

輝け 本村小っ子 かかわり合って生き活きと

———自分が好き・友達が好き・学校が好き 笑顔輝く 本村の子ども———

学校の主役は、子どもたちです。

その子どもたちが、毎日元気に登校し、楽しく生き生きとした生活を送ることができる学校を築くために、また、子どもたちが未来への夢や希望を育んでいくことができる学校を築くために、学校を経営する。

### 1 目指す学校像

学校は子どものためにある。教師の仕事は、子どもの発達の重要な段階に寄り添い、その発達を可能な限りの高みに押し上げ、一人一人の個性を花開かせ、自己実現へと導く重要な役割を担っている。

子どもにとって、教師との出会いは決定的である。その運命的な出会いの厳かさや責任の重さを自覚し、この学校に学び、この先生方に会えて良かったと子どもからも保護者からも思われるような学校でありたい。

そのために、「目指す学校像」を

『自分が好き・友達が好き・学校が好き 笑顔輝く 本村の子ども』

- (1) 確かな学力と心豊かな成長を目指し、生きる力をはぐくむ学校
- (2) 教職員の英知を結集し、安全で創造的に発展する学校
- (3) 信頼を基盤とし、保護者や地域とのかかわりを大切にする学校

とし、その実現に向けて努力する。そして、本校が、

- ① 公立小学校であること
- ② 義務教育段階であること
- ③ 生涯教育の基盤を培う場であること

を踏まえ、子ども、教職員、保護者・地域社会に開かれた学校として、教育活動を進める。



### 3 本年度の教育目標と経営目標

#### (1) 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、豊かな感性をはぐくみ、生涯にわたって自ら学び続ける態度と能力の基礎を培う教育を推進するため、次の教育目標を設定する。

- ① 創る 深く考え、創造力のある児童の育成 \_\_\_\_\_ 知育
- ② 思いやる 自他のよさに気付く心豊かな児童の育成 \_\_\_\_\_ 徳育
- ③ 活きる 健康で、何事にも意欲をもって活動する児童の育成 \_\_\_\_\_ 体育

特に、「思いやる」を重点目標とする。

## (2) 学校経営目標

子どものための学校、そして保護者や地域の信託に応え得る学校を築き上げるため、次の経営目標を設定する。

かかわり合って

生き活きと

『 集団の中で輝く個（子）、個（子）が輝く集団 』

『 集団の中で磨かれる個（子）、個（子）が磨く集団 』

『鍛える』 自分を鍛える 互いを鍛える 集団の中で鍛え合う  
頭を鍛える 心を鍛える 体を鍛える

## <重点方針・取り組み実践活動>

### ◆ 人権教育の推進— 人権週間、人権標語週間、人権尊重推進月間（東久留米市）

ふれあい月間・いじめ防止強化月間・さわやか月間

言葉遣いの見直し

⇒ 「正しく美しい日本語、尊敬語・謙譲語・丁寧語」

⇒ 「あったかハートの言葉」

言葉を大切にします！！

※ 人権教育の実践的な推進を図る。

※ 人権教育の課題を解決するとともに、児童・教職員の人権意識の向上を図りながら  
(人権感覚を磨きながら)

『自他を尊重する心』を育成する。

「人も自分も大切にする子どもの育成」「人も自分も大切にする心の育成」

※ 家庭・地域と連携し、地域に根差した人権教育の啓発を図る。

(差別や偏見のない学校・地域)

★ 平成22・23年度

## 東京都教育委員会人権尊重教育推進校

としての2年次の取り組み

◎日常的な教育活動を通して ◎特別設定の教育活動を通して ◎校内研究を通して

⇒研究の一端を、**研究発表会**にて示す。**研究発表会**を成功させる。

- ◆ 特別支援教育の充実と更なる活性化——校内委員会の組織化と定例化、  
清瀬特別支援学校との交流（副籍校交流）
- ◆ 健康教育・食育の推進——体力向上週間（月間）、生活習慣の見直し、給食指導の充実
- ◆ 生活指導の徹底——看護体制の見直し、生活（保健）目標の周知徹底と成果確認  
基本的生活習慣の定着（低学年のうちにしっかりと）  
言葉遣いの見直し「正しく美しい日本語、尊敬語・謙譲語・丁寧語」  
児童が互いに「敬称をつけて」名前を呼び合うことの徹底  
(呼び捨ては×)
- ◆ あいさつ運動——あいさつ運動（児童、保護者、教職員と共に）
- ◆ 読書活動——朝の一斉読書、読書週間、年間を通じて保護者による読み聞かせ
- ◆ 奉仕活動——日々の清掃活動の充実、校内清掃キャンペーン、地域清掃活動
- ◆ 異年齢集団活動——縦割り班活動、兄弟学年・兄弟学級での交流

### 異年齢集団活動で望まれる児童の姿

高学年は低学年に接するときの心遣いや気配りから、人を思いやる心や年下のものを慈しむ心を育みます。

また、低学年は高学年の姿から、年長の者を尊敬する心や規範意識、社会性を育てます。  
そして、自分が高学年になったときの低学年に対する心構えも培っていきます。

- ◆ 異校種間・地域関係機関との交流——小中連携事業の具体的な実践  
久留米特別支援学校・清瀬特別支援学校との交流  
小山児童学園との交流  
青少協事業への積極的な参加
- ◆ **新学習指導要領完全実施**——学校としての努力を実践と成果に繋げる。
- ◆ 平成23年度のみ『創立35周年』プチ記念
  - ◇ 各行事の冠に「創立35周年」を入れる。
  - ◇ 運動会開会式で花火を上げる。 e t c .

## <基本方針>

- ① 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着と、学力（生きる力・人間力を内包した）の向上
  - 進んで学習しようとする心を育てる。
  - 個に応じた指導の工夫と充実を図る。
  - 実践的な研究・研修によって、教師の指導力・授業力の向上を図る。
  - 「本村小学校 授業改善推進プラン」を有効活用し、更なる学力の向上を図る。
- ② 心身ともに健康で心豊かな児童の育成
  - 体験的活動を充実させ、人・自然・社会との関わりを通して、心を育てる。
  - 健康教育並びに食育や道徳教育の充実を通して、健康な心身を培う。
  - 体育的活動を推進し、児童の体力向上に努める。（新体力テストの導入、体力向上週間・月間）
  - 生活指導の充実を図り、健全な児童の育成に努める。（たくましさ、規範意識、社会性 等）
  - 音楽に親しむことを通して、豊かな心を育む。

「歌声の響く学校」「校歌を高らかに歌う子どもたち」

- ③ 開かれた学校の推進と、  
家庭地域と連携しての教育活動の展開、地域ぐるみの学校安全体制の確立
  - 教育活動や学校の様子を、より公開していく。
  - 情報の発信・交換に努め、学校としての説明責任を果たす。
  - 家庭地域に対して、誠意をもって対応していく。
  - 家庭・地域と連携し、安心、安全な学校・地域を構築する。
  - 関係機関・地域関係者と連携して、多面的な教育活動を展開する。

### 3 終わりに

本校の教育活動のすべての最終責任者として、その職務と責任を自覚し、「すべての事柄の責任は自分に帰する」ことを肝に銘じ、子どもたちには愛情を、教職員には感謝と信頼の念をもち、また、保護者・地域の方々には理解と協力を頂きながら、本校が地域の学校として愛され、信頼が寄せられるよう、最善の努力をする所存です。